

「人間ドック」とは、永い航海をした船がドックに入港し、次の安全な航海に備えて船体のチェックや修理・調整を行うことにちなんで名付けられました。

船や飛行機などの機体は、一定期間を過ぎますと整備点検、修理、消耗部品の交換が行われます。それは、大きな事故を未然に防ぐためには非常に大事なことです。

人間も同様に、ある年齢を過ぎますと、少しずつ体の機能が低下してきます。日常生活を豊かに過ごすためにも、何と言っても健康でなければなりません。誰しも、健康管理の重要性や必要性は感じつつも日常生活に追われ、自らの健康を顧みることが少ないのではないのでしょうか。

現在、日本人の死亡原因の約七割が「がん」「脳卒中」「心臓病」などの、いわゆる「3大生活習慣病」とされています。これらの病気は、発症までに時間がかかり早期には自覚症状の現れにくいことが特徴です。早期発見がされない限り、その診断や処置が遅れる場合があります。

自覚症状がなくても、人間ドックにて発見される「がん」の七割近くは治療可能な早期がんというデータもあります。当院の人間ドックでも、早期がんを発見し早期治療を行い現在も元気に過ごしている方が多くおられます。

また、高血圧・糖尿病・高脂血症・動脈硬化などが原因による「脳卒中」「心臓病」は、身体の中の臓器がお互いに関連しあつて異常を引き起こします。

早期発見することにより、早い段階から治療を開始し、その後の進行を止めることもできますので、定期的に一通り調べておく必要があると思います。

人間ドックの目的

一次予防・・・近い将来、病気を引き起こすと考えられる異常や生活習慣の問題点を明らかにしこれを改めて、病気の予防をする。つまり、発症する前に病気の芽を摘んでしまおうということです。病気の発症には遺伝的要因、外部環境要因、生活習慣要因の三つがかわります。このうち生活習慣は、病気の発症に影響が大きくこれを改めることで病気の予防を期待することができます。二次予防・・・自分が健康であると感じている人が、病気を持っていないことを確かめることです。健康だろうと思っている人が、自分の気付かないうちに病気を抱えているとしたら、それを早く見つけて大事に至らないうちに治療するということです。

「予防に勝る治療はない」

病気の早期発見・早期治療を心がけることは、現代の長寿社会の義務であるといっても差し支えありません。本当の長寿は、精神的にも身体的にも健康で長生きすることだと思えます。

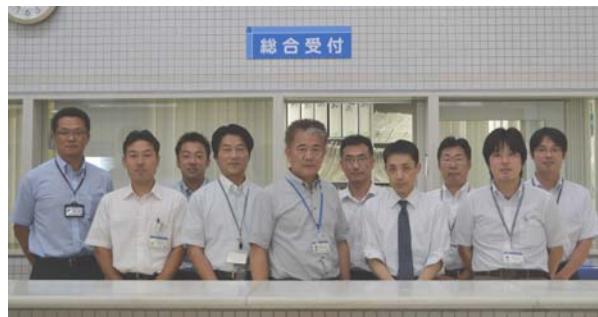
当院の人間ドックでは、多数の項目を効率よく短時間に検査を行いますので、午前中には検査が終了します。短時間で総合健診が行えますので、多忙な方には最適です。

身体に異常を早期に見出し、その進行を防止すること。また健診からの二次検査・アフターケアに至るまで、一貫した医療体制で皆様の健康増進に貢献し、よき「健康コンサルタント」として微力ながらお役に立ちたいと願っております。



こんにちは
事務所です

こんにちは、事務所男子です。以前、事務所女子を紹介しましたが、今回は男子の仕事の一部をご紹介します。みなさんは、マキノ病院は、事務の男性スタッフが多数に思われたことはありませんか？



では、男性はどんな仕事をしているのか？と言いますと、女性と同様の仕事も多くしています。男性が多いため、受付や会計が男性だけの時もあり、一種独特の雰囲気です。男臭さが漂います（た）だ、女性より女性らしい男性？もおります（笑）。

具体的には、検査の時等の患者さんの移動介助（通称「よいしょ!」と言っています）、当直勤務では、夜診終了から翌朝までの電話応対、時間外の急患対応では、受付から会計までを一通り、

睡眠に襲われつつも懸命に行っています。夜間平穏な時もありますが、夏休みの時期、風邪などが流行っている時期は、多くの患者さんがおみえになります。当院で対応が困難な場合で、一刻を争うような時は、専門医がおられる受入可能な病院への救急搬送の紹介手続きも行います。場合によっては、当直医が救急

車に同乗しますので、在宅医師への呼び出しも行います（実際、院長が呼び出されることもあります）。

また、以前こんなことがありました。当直中の草木も眠る丑三つ時（午前2時ごろ）に、けたたましいサイレンの音と「火事です。火事です。火災が発生しました。至急避難してください。」の自動音声アナウンス。半ば寝ぼけながら、緊張からの冷汗のなか、出火場所を火災警報盤で確認し、現場に直行。場所は地下一階、階段を降りながら頭の中では、本当に火が出てたらどうしよう！、入院患者さんの避難誘導はどの経路で？など、いろいろなことが頭をよぎりましたが、さいわい、その時は誤報ですみました。事務所に戻ると、夜勤の看護師さんやケアワーカーさんが、応援に駆け付けつけてくれて、その時ほど、共に夜中働く、仲間のあるがたさを感じたことはありませんでした。しかし、その誤報事件からしばらくの間、夜間の警報ブザーには異常なほど敏感になり、トラウマになったことは言うまでもありません。

そんなこんなで、男性事務スタッフは、一年365日、一日も欠かすことなく、夜の病院を守り続けております。そんな大層なことではありませんが（笑）

以上、ほんの一例ですが、男子の仕事風景をご紹介します。（医事課主任 南 雅朗）

新人紹介

この度入職いたしました新しいスタッフです。皆様方の温かい御支援よろしくお願いたします。



薬剤師 安藤 みゆき



ケアワーカー 澤田 千夏

小児予防接種の予定（8月・9月）

	混合ワクチン・麻疹風疹混合・BCG・日本脳炎・ポリオヒブ・肺炎球菌・子宮頸がん・水痘・おたふくかぜ・ロタ				
	受付・接種時間：13時～ 16時～16時30分				
8月	2日(金) 20日(火)	6日(火) 23日(金)	9日(金) 27日(火)	13日(火) 30日(金)	16日(金)
9月	3日(火) 20日(金)	6日(金) 24日(火)	10日(火) 27日(金)	13日(金)	17日(火)

マキノ病院理念 マキノ病院は、患者様中心の医療と福祉を实践し、患者様およびご家族の信頼と満足を得ることにより地域の皆様に安心していただける環境の創造を目指します。

テーマ 『糖尿病』 健康教室のご案内

「糖尿病と運動療法」(後篇)

平成25年8月15日(木) 午後3時30分～

～当院では生活習慣病などを学びたい方のために『健康教室』を開催しています。～

場所：2階図書室

「糖尿病と薬物療法」

平成25年9月19日(木) 午後3時30分～

どなたでも自由にご参加できます。(入場無料)